

令和8年度 園経営計画 足立区立宮城保育園

園長 楠 敦子

1 園の経営目標

- (1) 一人ひとりの子どもを尊重し、子どもや保護者との信頼関係を基盤として、子どもが安心して自己表現できる保育を実践する。
- (2) 主体的に関わるさまざまな体験を大切にしながら、子どもの心と体、感性を育て、夢や希望を持って生きる力の基礎を育む。
- (3) 保護者及び地域と連携し、地域の教育・保育の拠点として、子どもの健全な発達を推進する。

2 園の現状

- (1) 子どもたちは、自ら遊びや場、物を選びながらのびのびと過ごし、異年齢児との関わりを通して社会性や協調性を育てている。
- (2) 保育者は、園内研修を通して保育の振り返りや意見交換を行い、学び合いながら子ども理解を深め、保護者に伝わりやすい連絡帳やクラスだよりなど、学びを実践に活かしている。
- (3) 保護者や地域と連携し、園の取り組みや子どもの姿を丁寧に伝え、信頼関係を築いている。

3 今年度の重点的項目

重点的に取り組んでいきたい事項－1	主体性の育成を図るため、子どもが興味や関心をもち「やってみよう」「面白い」と感じながら遊び込める環境づくりを行う。
具体的な取り組み	
項 目	具体的な内容
(1) 子どもの興味や関心をもとにした環境構成を行い、子どもの様子に合わせて見直していく。	ア 一人ひとりの遊びの様子や気づきをもとに、子どもの興味や関心を捉え、玩具や素材、コーナー配置を見直す。 イ 子どもが自分で遊びを選べるよう、見通しをもって使える環境を整え、十分に遊び込める時間を確保する。
(2) 絵本や音楽、制作等の遊びを通して創造性や感性を育て、心が動く経験につなげる。	ア 絵本の読み聞かせや音楽に親しむ時間を設け、感じたことや思いを言葉や表現で表せるようにする。 イ 身近な素材を使った制作遊びを取り入れ、自由な発想で表現する楽しさを味わえるようにする。
重点的に取り組んでいきたい事項－2	職員は保育力の向上を図り、子どもの姿から学び合い、心情や発達過程を大切に丁寧な保育の実践に活かしていく。
具体的な取り組み	
項 目	具体的な内容
(1) 保育の振り返りを行い、子どもの姿を共有し、心情や発達の理解を深める。	ア 毎月の会議の中で研修を継続して行い、子どもの姿や育ちを職員間で共有する。 イ 記録を活用し職員間の対話を重ね、子どもの思いや育ちを多角的に捉えながら理解し、適切な関わりにつなげる。
(2) 必要な知識及び技術の習得や向上に向けて組織で取り組む。	ア 全職員がさまざまな研修に参加し、職務に応じた専門性を高め、課題解決に向けて努力する職場風土を維持する。
重点的に取り組んでいきたい事項－3	園の情報や保育内容を積極的に発信し、園運営への理解を深め、保護者や地域と連携して園児の成長や地域の子育て家庭を支えていく。
具体的な取り組み	
項 目	具体的な内容
(1) 日々の保育内容や情報を随時保護者に発信する。	ア コドモンの機能を活用し、保育のねらいや子どもの姿など、分かりやすくタイムリーに発信していく。
(2) 地域交流を通して、子育て支援の拠点としての役割を担う。	ア 幼保小連携や三園交流などの活動を地域の拠点として中心的に進め、就学に向けて円滑な接続を図っていく。 イ マイ保育園事業の充実を図り、未通園世帯の利用を促す。